

あいさつで笑顔に

太田市立生品小学校

五年

糸井

遥香

いとい

はるか

私の学校では、火曜日に朝会をやることがある。その日は、六年生が体育館の入り口で、あいさつしてくれるのだ。

夏休みになる少し前、一学期最後の朝会が行われた。一学期最後なので、私はいつもより元気に、六年生にあいさつした。

「おはようございます！」

と、元気にあいさつをすると、六年生は、

「おはようございます。」

と、あいさつを返してくれた。私はあいさつ

を返されて、とてもうれしい気持ちになった。

それから、あいさつをすることが増えてい

って、友達からあいさつをされることも増え

た。あいさつをするだけで、友達とも仲

良くなれたり、たくさん話をするようになり、

毎日が楽しくなっていた。

しかし、世の中には、あいさつをしても返

事をしない人もどこかにいる。その人は、何

か いやなことがあったのか、返事をしたくな
いのか、どちらかの理由で返事をしていない
のだと私は思う。あいさつをして、返事があ
ったらお互いうれしいけれど、返事がないと
悲しい気持ちになっってしまう。なので、あい
さつをされたら、きちんと返事をしたほうが
いいと思った。

ある日の授業を終える時のことだ。
「日直さん、号令お願いします。」
と、先生が言った。

「注目、礼。」

「ありがとうございます。ありがとうございました！」
クラスのみんなの大きな声がひびいた。私は
ふと気づいた。

「あれ。」
「ありがとうございます。ありがとうございました。」
「さっだ。何で覚えたんだ？」

次の日の朝、学校の靴箱の近くに、「オア
シスサー」と書かれたポスターが張ってあ
った。
「これだ！」

私は晴れ晴れとした気分になった。そのポス

ターには、「おはようございます」、「ありがとうございました」、「しつれいします」、「すみませんでした」、「さようなら」の、三つの言葉が書かれていた。この言葉は全てあいさつで、頭文字をつなげると、「オアシスサーになる。」

「すごい！魔法の言葉みたい！」

私はウキウキした。

これでみんな笑顔になれるかな。

数日後、風邪で休んでいた新友が学校に来

た。

「久しぶりだね。おはよう！」

私が言うと、

「お、おはよう。」

と、返事をしてくれた。私が急に言うときた

からなのか、少しびっくりしている。でも、

あいさつで笑ってくれてよかった。

私は、誰かのあいさつで、誰かが笑顔にな

てくれると思った。もし、落ちこんでいる

人がいたら、まずはその人に声をかけてあげ

ることが大切だ。あいさつをしたり、声をか
けることで、この社会は明るくなるだろう。
あいさつの力で、どんな人でも笑顔になれば
いいなと思った。